地域企業・産業資料デジタルアーカイブについて

（１）　このデジタルアーカイブは、東京大学経済学図書館が所蔵する地域企業・産業資料のうち、印刷物および近代の文書類について順次デジタル化をすすめているものです。

（２）　このデジタルアーカイブの利用に際しては「東京大学経済学図書館電子資料利用規則」に同意したものとみなされます。

（３）　印刷物など他媒体への使用については、東京大学経済学図書館までお問合せください。

（４）　画像は白黒です。画像の撮影には文字が視認できるよう十分な注意を払っていますが、資料の欠損、変色、褪色等の劣化や、ノド部分の状態によっては、原本の文字が全て写っていないものがあります。これらについては資料の原形を保ちつつ、出来る限りの範囲で撮影したものとして了解下さい。写りの悪い資料については、東京大学経済学部資料室にて、所定の手続きにより原本の閲覧をお願いします。

（５）　本アーカイブに関する質問等については、東京大学経済学部資料室までお問い合わせ下さい。

（６）　本デジタルアーカイブの一部は、独立行政法人日本学術振興会平成27年度科学研究費補助金（研究成果公開促進費）課題番号15HP8021の交付を受けて作成しています。

0000 1118

I. A. Oct. 25, 1934.

○ Cromansil steel used in Hull Construction of America's Cup Defender.

Cr. 0.4 ~ 0.6 % Mn. 0.9 ~ 1.4 % Si. 0.6 – 0.9 %.

The carbon content may be varied widely, the amount depending on the use to be made of the steel, but for general purposes is held between 0.15 and 0.25 per cent. The following table compares the physical properties of Cromansil with those of ordinary carbon steel:

	Yield pt. lb/□ in.	Ult. str. lb/□ in.	El. % in 2 in.	Red. of Area %
Cromansil (0.20C)	60,000	90,000	28	62
" (0.30C)	70,000	115,000	25	60
Plain carbon	35,000	65,000	24	45

Cromansil is a relatively new member of the alloy steel family. It was developed by Electro Metallurgical Co., New York, as a result of investigations begun in 1926. The present name was not

adopted until 1931,

附記說明書、参考資料ヲ参照スベシ

日本製鐵株式會社

低炭素銑製造法ノ研究（谷口技師）　一〇、二、二〇、　部長談

高炉ニ於テ炭素ノ低下ト硅素ノ低下ハ両立セサルモノナリ　炭素ハ出来ルモ平炉ニ於テ作業ニ大ナル支障ナシ　瓦斯トナリテ消失スルモノナル故、サレハ強ヒテ高炉ニ於テ其ノ構造ヤ操業法迄ヲ変エテ之ヲ低下スルノ必要ヲ認メズ

ベセマーノ採用ニ就テ

八幡ニ於ケル実例ハ余リニ之ヲ（討論ノ）基礎トスベカラズ　如何トナレバ送風機ノ如キモ極メテ能率悪キモノニシテ汽罐率ノモノハ、[illegible]徒ラニ蒸気ヲ浪費セシモノナレバ送風費ノ大部分ハ蒸気費ナレバ之ハ比較トスベカラズ　又炭量モ十瓲ニテハ小ニ過ギ

ベセマーヲ使用セントセバ二十五瓲位ノ容量ノモノニシテ混銑炉ヲ介在セシメテ平炉トピッチヲ

＊二回以外
カーリニトヲ、

＊瓦斯ノ損ト
ハファー、
瓦斯外熱ノモノ

製鐵所

入ルスル如クスベキナリ
高炉ハ「ベセマー」銑ヲ吹ケバ「ベーシック」銑ガ犠牲ニナルヿトナルモ致シ方ナシ

第三編使用砿石ニ就テ

餃？栗、下野（三菱製鉄鉱山）ハ品位ヨク三菱ニ移渡セシ載寧ハ品位悪シ*然シモ三菱ガ之ヲ採掘スルヿトナリ第二鉱ニテハ可成品位ヨキモノヲ撰ブニ依リ従ツテ載寧ハ余リ使用セラレザルヿトナリ不得策ナリ載寧ハ山ニテ*洗フニモ水ナク又電気等ノ設備ナシ？、之ガ使用ヲ廣ク行ハシムルニハ工場ニ十分品位ヲ投シテ洗鉱ノ設備ヲ施スヲ要ス

載寧ニテハ鮮人ガ鶴嘴ニテ採ル外ニ時々ハ「ハツパ」ヲカケル程度ニシテ土ノ下ニ鉱石ガアルナリ

*泥土ヲ混スルニ依ル之ナキモノハ品位下野ト同様ナリ

*泥土ヲ附着セリ

hangingシテヰ
lifeガ迫リツヽアリ

釜石　一〇、一八

最近ニ於ノ出銑量減ジタルハ北海道炭ノ供給ガ減ジ（夕張特務ノ、）セルニ依ル

釜石ハore、coke、limeヲlayer by layerニ装入セズ豫メmixシテ装入セシ何レガ得策ナルカ疑シ

瓦斯エンジン（修繕、掃除）ト鉱石配合ノ変化ノ（南方鉱石ガ来ナイタメ）（支那？）

購入屑鉄価格及使用割合

①輸入屑　四九、五〇円　八〇%

②内地ノ　四〇、〇〇　二〇%　｝四七、六〇円

銑鉄価格

四九、七〇円（四九、八〇円ガ正確）

銑鉄ノ値上リノタメ輸入屑ノ価格ノ上昇ヲ誘フ

内地屑ハ商工省ノ闇価ヲ低ム

日本製鐵株式會社

日本標準規格 B5(182×257mm)

内地屑鉄　10.4.26.　伊藤氏

八幡　円　円
切断代　2〜3
第二種　ガス切（化物）
カーバイト、切断
不口物　7円　9円かかる
37.30円

一級品　最低　41.00円　（厚2分以上）
二級品　4円下リ　37.00　（〃1.5分〜2.5分）
〃　7円〃　34.00　37.00円　（1.5分以下）
鋳物　19円

第二種切断代
厚鋼板 條鋼 其他　4.0円
軌條、5寸以下 丸棒 シャフト 鋳物　2.5
5寸以上 丸棒 シャフト 其他　9.0
鋳鋼ドオ（大型品）

$(37.\times\frac{1}{2})+(19\times\frac{1}{2})$
$=28.5$円

切断費 5円 + 運外費 8円 = 13円
28 − 13 = 15

① 鋼屑　上等

② 内地屑　一級

プレス

鉄道省 ミミずん

上云

下

八幡購入　一〇

内地　一

昭和十年八月現在
八幡ニ於ケル

内地屑
一級品　38.円
二級〃　31.円
三級〃　26.円

輸入　一級品　46.20円

$\frac{38.00}{46.20}=.82$

日本製鐵株式會社

内地屑鉄 10.4.26. 伊藤氏

一級品	最低	41.00円	（厚2分以上）
二級品	4円下り	37.00	（〃 1.5～2分）
三〃	7円〃	34.00	37.00円（1.5以下）
鋳物		19円	

八幡 切断代 2～3円 19

第2種 ガス切断（切断物）

カーバイト、切断…

不足分 7円 9円かゝる

37.30円

$(37 \times \frac{1}{2}) + (19 \times \frac{1}{2}) = 28$円

切断後 5円 + 8 = 13円

28−13=15

第二種 切断代

切て各種鋼板 條鋼 其他	4.0円
軌條、5ミリ以下（丸棒シャフト其他）	2.5
5ミリ以上（丸棒シャフト其他 鋳鋼ドボ（大型品））	9.0

① 輸入屑 上等

② 内地屑 一級 プレス

鉄道局

上 下

八幡 輸入 一〇

内地 一

11.5

最近日鐵が購入しておる屑鉄の種別価格

		一級品	二級	三級
外地屑	八幡着	45.—	38.—	37.—
	若松着	51.70		
輸入屑	八幡着	55.95		
ダライコ		+2		

$\frac{45}{56} = .80$

日本製鐵株式會社

内地屑鉄　10.4.26、伊東氏

一級品　最低　41.00円（厚2分以上）
二級品　4円下り　37.00（〃1分5〜2分）
〃　7円〃　34.00（1分5以下）　37.00円

八幡　切断代　2円—3円

第二項　ガス切断（大物）
カーバイト、切断（小物）
不口物　7円　9円　カーバイト

鋳物　19円

37.30円

$(37\times\frac{1}{2})+(19\times\frac{1}{2})=28$円

切断賃 5円＋臨外費 8円＝13円

28−13＝15

臨外費
$30人\times20円=600人$
$1.5円\times600人=900$
1,000円トス

第二項切断代　鋼板、条鋼其他　4.0円
軌條、5寸以下ノ丸棒シャフト鋼材　2.5
5寸以上ノ丸棒、シャフト其他　鋳鋼ドオ（大型品）　9.0

①輸入屑　上等駄　四四.〇円—四五円。

②内地屑　一級品　四二.〇円　max.

プレス　二三.五〇　min.

鉄道局[illegible]一級品

上等切　三七.〇〇

下〃　四二.〇〇

八幡輸入　一〇
内地　一
、[illegible]（約）

日本製鐵株式會社